

+幸せを探すあなたへ

GOOD NEWS (グッドニュース)



ある日、なぜ人々が願ってもいないのに、不幸にずっと陥るようになるのか分かりました。なぜ成功した人々が虚しさの中で、やみの中をさまようのか分かりました。だれにも話せなくて、話しても理解することができない問題が、どんなものなのかが分かりました。

環境、条件、レベル、知識と関係なく、幸せになる道があるという事実を知りました。そして、私ひとりのゆえに家庭と家系と次世代と全世界を生かせるという事実を知りました。その解答を発見したので、それを伝えようとペンを取りました。

私たちは生きています、望んでいないのに、解決できない問題の中に置かれるようになる時が多いのです。ところで、こういう問題は、はやく解決しなければ、もっと深刻なことになります。

なぜ、このような問題がくるのでしょうか。その解決策は、はたして何でしょうか。今、あなたに完全に解決できる道があるならば、どうしますか。

神様のみことばである聖書では、その解決策を確かに知らせています。本来、人間は神様のかたちとして創造された神様のみことばである聖書は明らかにしています。神様を知って礼拝することができる霊的な存在で神様と交わりながら生きるように創造されました(創世記 1:27、2:7)。そして、人に全地を征服して治める権威をくださいました(創世記 1:28)。言い換えれば、人は最高に幸せな霊的存在として創造されたということです。魚が水の中に、鳥が空中で、木は土の中に根をおろして生きなければならぬように、神様のかたちとして創造された人間は、神様とともに生きてこそ、真の幸せを味わうようになります。これが、神様の創造原理です。

ところで、なぜ人間に、このように解決できない

不幸な問題がたくさん生じるようになったのでしょうか。人間を創造された神様と人間の間には、約束がありました(創世記 2:17)。ところが、人間がサタン(悪魔)の誘惑で、この約束を破る罪を犯したのです(ローマ人への手紙 3:23)。罪を犯した結果、人間は神様を離れるようになりました(創世記 3:1-6)。神様を離れた人間は、サタン(悪魔)の奴隷になってしまいました(ヨハネの福音書 8:44)。その結果、人間には呪いと災いと苦しみと死が入ってきて、運命と生年月日による運勢に縛られるようになりました(創世記 3:16-20)。最初人間であるアダムとエバが罪を犯した以後に、すべての人間は原罪を持って生まれるようになり、私たちのたましいは、神様を離れたたましいになりました。これが、私たち人間の根本問題です(創世記 3:1-6、ローマ人への手紙 3:23)。人間は、結局、神様を離れて、サタン(悪魔)の支配を受けながら生きるようになりました。サタンは神様に敵対して、私たち人間に苦しみと呪いをもたらして、結局は、滅亡させます。

神様を離れた人間は、次のような問題で苦しみがら生きるようになりました。神様とともにいなければならない人間が神様を離れて、自分も知らないうちに悪魔の支配を受けるようになりました(ヨハネの福音書 8:44)。その結果、迷信、偶像に陥って、占い、お祓い、善行をしてみるのですが、幸せはなくて、引っ越しする日、方角、墓の場所を自由にできない運命に縛られて生きるようになりました(エペソ人への手紙 2:2)。不安、虚しさ、精神病、ノイローゼ、うつ病、不眠症など、おかしな呪いに捕われて、背景も良くて、知識も多くて、お金も多いのですが、しきりにさまようようになります(エペソ人への手紙 2:3)。体はしきりにうつ病、病気、不治の病、悪夢に苦しめられて、金縛りにあったり、病名もないのに苦しみがら、人生の中に繰り返す失敗と葛藤を経験するようになります(使徒の働き 8:4-8)。結局、神様を否認して現実にだけ執着して、

死んだ後は地獄の永遠なさばきを受けるようになります(ヘブル人への手紙 9:27)。さらに深刻なのは、この苦しみが私の問題だけで終わるのではなく、すべての問題が再び私の子どもに相続されるという事実です(出エジプト記 20:4-5)。
多くの人々が宗教、善行、哲学、科学などを通して、こういう不幸の問題を解決して、神様に会おうと努力するのですが、人間自らの力では、この問題を解決できないのです。

それで、神様は人間の問題を解決してくださるために、人間を救う計画を立ててくださいました。その方法は、神様が人となって、この世に来られることでした(ヨハネの福音書 1:14、ローマ人への手紙 5:8)。その方がまさに「イエス・キリスト」です(マタイの福音書 1:21)。イエスは「救い主」(名前)、キリストは「油そそがれた者」(職分)という意味です。イエス・キリストは、神様を離れたすべての人間を神様に会うようにさせる唯一の道である真の預言者です(ヨハネの福音書 14:6)。イエス・キリストは、十字架で私たちの罪の代わりに死なれることによって、私たちのすべての罪を解決して、呪いと災いから解放させられた真の祭司です(マルコの福音書 10:45、ローマ人への手紙 8:2)。イエス・キリストは、死から復活され、今でも人間を困らせて地獄に引っ張っていくサタン(悪魔)のすべての権威を完全に滅ぼされた真の王です(ヨハネの手紙第一 3:8)。それで、聖書はイエス様を「キリスト」だと語っています。言い換えれば、人間が絶対に解決できない根本問題を完全に解決なさった方だということです。イエス様は、これらすべての救いの計画を十字架で成し遂げて、死から復活されました(コリント人への

手紙第一 15:3-4)。今でも、天の御座におられ、世の中を統治しておられます。

それなら私は、どのように私のすべての問題から解放されて救われることができるのでしょうか。今、上の事実を信じて、イエス様をキリストとして私の心に受け入れれば良いのです(ローマ人への手紙 10:9-10、ヨハネの福音書 1:12)。イエス様を信じて祈りで受け入れれば、神様の霊である聖霊様が、私の中に入って来られ、神様の子どもの身分を得るようになって、本来の人間が味わった祝福と権威を味わうようになります(コリント人への手紙第一 3:16、創世記 1:27-28)。今、この時間にあなたはイエス・キリストを受け入れることによって、神様の子どもになって、あなたの過去、現在、未来のすべての問題を解決することができます(ヨハネの黙示録 3:20、ヨハネの福音書 5:24)。真実な心で、下の祈りにしたがって、イエス・キリストをあなたの救い主として、主人として心の中にお迎えする祈りをすれば良いのです。

「愛の神様、私は罪人です。私のために十字架で死んで、復活して罪とサタンの権威をうち砕いて、私の人生のすべての問題を完全に解決されたイエス様を、今、この時間、私の救い主として、私の主人として私の心の中に受け入れます。私の心の中に聖霊で入ってきて、永遠に私を治めてくださり、神様の子どもになった祝福を味わいながら生きるようにさせてください。私を救ってくださったことを感謝して、イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン」



神様の子どもへの5つの確信

- 1 **救いの確信**：イエス・キリストを信じて受け入れた私は、神様の子どもになって救いを得ました。(ローマ人への手紙 8:15-16、ヨハネの手紙第一 5:10-13)
- 2 **祈り答えの確信**：神様の子どもは、イエス・キリストの御名で何でも求めることができ、神様はみこころどおりに必ず答えてくださいます。(ヨハネの福音書 15:7)
- 3 **導きの確信**：神様は聖霊で私の中にいてくださって、私のすべての生活を治めて導いてくださいます。(ヨハネの福音書 14:26-27、箴言 3:5-6)
- 4 **赦しの確信**：私のすべての罪はイエス・キリストのあがないの血の力で解決され、だれでも罪を告白して、悔い改めれば許してくださいます。(ヨハネの手紙第一 1:9、ローマ人への手紙 3:24)
- 5 **勝利の確信**：救われた私は、世の中に勝たれたイエス・キリストによって、どんな問題の中でも信仰で勝利できます。(ローマ人への手紙 8:31-37、ヨハネの手紙第一 5:4)

長老伝道企画時代 全体時刻表を見る重職者

なぜ神様はムーディーを用いられたのか。 R.A. トーレイが書いた本を見れば、神様がムーディーを用いられた七つの理由が出てきます。彼のからだ、性格、すべてと彼の所有すべてが完全に神様に属していた。ムーディーが偉大な説教者というよりは、偉大な祈りの人だった。深いながらも、実際の神様のみことば(聖書)の学生だった。「信仰は多くのことを得ながら、愛は多いことを成し遂げ、謙そんは多くのことを維持する」という言葉をいつも告白する、神様の前で謙虚な人だった。数百万ドルがムーディーの手に入ったが、すべて過ぎ去っていき、彼の指にはつかなかった。ムーディー自身が救われた直後、決断したのが、ひとりにたましいの問題を言わずに二十四時間が過ぎ去らないようにすることだった。それで、彼は情熱がない知識よりは、知識がない情熱がはるかに良いと告白した。上からの力を毎日、体験した人だった(聖霊の満たし)。

神様はどんな重職者を用いられるのか 一言で話せば、七つの全体の時刻表(伝道者時代、重職者時代、OMC時代、産業宣教時代、現場運動時代、RUTC時代、レムナント時代)を知って、一人で毎日毎日五つの祝福を味わえる人です。重職者が事業をしているのに、毎日、みことばの成就を味わって重職者が神様の契約を握って行くだけなのに、ずっと祈りの答えがきてこの証拠で重職者のそばに伝道の実がずっと起きて重職者に今は弟子の出会いが始まっていよいよ重職者に契約を受けて全世界を置いて、全地域を置いて、この弟子たちを派遣して、後援組織を立てることまで悟って味わう人が、まさに神様が用いられる、この時代の重職者の姿です。

+今週の黙想

死の原理といのちの原理

全てのものは神様の御手にあります。万物を創造された神様が、私たちのいのちを治めておられ、私たちの救いを定められました。そして、そこに従う歴史的なすべての準備をされました。それで、これらすべてが、神様の時刻表によって動くようになっています。言い換えれば、全てのものに対する目的と意図があるということです。私たちが見るには小さいことのように見えるのですが、神様がみな計画を持っておられたのです。そして、それが成される時刻表があります。神様は私たちを天国に導く作業まで完全になさいます。それで、神様の時刻表は永遠です。それなら、私たちが一番、目を開かなければならない部分が弟子です。地域を生かして責任を負うべき弟子、世界各国の責任を負うべき弟子、この時代に聖書的伝道運動の責任を負うべき弟子を育ててこそ、世界福音化のための伝道運動は持続するようになります。それで、私たちが先に、一生、聖霊にあって毎日伝道、毎日みことば、毎日祈りの祝福を味わって見せるべきです。その開始が、毎日一人で定刻礼拝、定刻祈りを通して聖霊の内住、聖霊の導き、聖霊の満たしを体験して味わうということです。これがイエス・キリストを通してサタンの原理の下から、キリストの原理に、死の原理からいのちの原理に、罪と暗やみの原理から聖霊の原理に解放された者の五旬節の祝福です。今すぐに、1分だけ祈ってみてください。「神様、私を聖霊で満たしてください!!」権力で、能力でできないことを、神様は聖霊の働きを通して成し遂げるようにされるでしょう。

説教_柳光洙牧師, 整理_チャ・ドンホ牧師

毎日毎日の森の泉

13日(月)

未来の準備(1テサロニケ1:3)

未来をどれだけ操り上げて、事実的に見るかによって、勝敗は変わります。最も良い時間に定刻祈りではじめて、みことばを深く黙想して、神様の子どもに与えられた祝福と権威を味わいながら、信仰と実力のうつわを準備する時、唯一性の答えと世界を生かす祝福を体験するようになります。

14日(火)

弟子の出会い(使徒2:42)

真の弟子は、聖霊の内住、聖霊の導き、聖霊の満たしの祝福を味わう人です。その時、弟子との出会い、みことば成就の答え、神様の重要な時刻表が成されるようになります。また、聖日礼拝の教壇のメッセージを通して、人生計画、祈り計画、伝道計画を見るようになります。

15日(水)

最高の作品を作りましょう

(1サムエル17:32~37)

私たちはすでに救われたので祈れるならば、他の人が見ることができない多くの世界を動かします。この祈りの中で、今日の勉強、今日の読書、今日の伝道、今日の運動、今日の技能、唯一性に向かった今日の準備だけをすれば、あとは神様が責任を負ってくださいます。

16日(木)

前で行われ、後ろで守られる主(出14:9~20)

世の中には確かに悪霊の働きと聖霊の働きが起きています。私が見ることばの流れ、みことばが成就する現場の中にいる時、そして、神様が願われるところで必要なことをする時、そして、神様のみことばを知って信仰で行動して、礼拝する時、必ず聖霊の働きは起きるようになります。

17日(金)

誇るべきことと誇るべきではないこと

(ローマ2:17~29)

イエスはキリストです。キリストは人間が絶対に解決できない霊的問題を解決され、悪魔のしわざを打ちこわして、神様に会う道を開いてくださいました。神様は救われた子どもと、いつもともいって、導いて、勝利させてくださいます。

18日(土)

伝道の中にすべてがあります(マタイ6:33)

神様は伝道に方向を合わせれば、全てを加えて与えると約束されました。それで、伝道者は三位一体の神様に対する信仰と、復活された主を体験して、聖霊の満たしを体験する時、すべての門が開かれて、すべてのものが回復する答えを受けるようになります。

週間メッセージ

産業宣教 重職者と弟子(使徒2:41-42)

伝道学 | 節度の備え(テモテ2:3-6)

核心訓練 | 伝道者の続けられる祝福

(使徒2:41-42)

聖日1部 神様は声を出して、彼に答えられた(出19:16-25)

聖日2部 神様の原理(ローマ8:1-11)

「愛します、 お客さま」



イラスト_ユン・スルギ

話をする前の赤ん坊も、意志表示をする。行動の限界があるので、赤ん坊の表現は、おもに泣き声に限定されるのだが、多くの赤ん坊の声が周辺で聞こえるのに、普通の人たちは、その声を注意深くは聞かない。しかし、赤ん坊の母親は、自分の赤ん坊の声を、いろいろな赤ん坊の声の中でも正確に捜し出して、遠くからも驚くべき聴力で赤ん坊の泣き声を聞いて走って行く。

いつか視覚障害者の友だちと一緒に、腕を組んで道を歩いていたが、この友だちが、突然、わけのわからない話をした。「ア！カナリアが鳴いている。雌だ」それで、私もその声を聞きたくて耳を傾けてみたが、私の耳には自動車が過ぎる音の他には聞こえなくて、その友だちに今、冗談で言ったのかと聞いたところ、いやと言いながら、自分の耳には鳴き声がよく聞こえるということだった。内心笑わせる友だちだなと思いつつ、曲り角の道に入ったところ、ちょうどそこにカナリアの一組が鳥籠にいるのが見えた。その友だちは、相当な距離で、遠方の鳴き声を聞いたのを知って、その時に「ア！この人は見ることができないかわりに、聞く耳が非常に発達しているんだな」ということを実際に確認した。

聞くことを願う人々もいるが、時には、多くの人々が、どこからきたかもわからず、終わりもわからない苦しみと痛み、他の人は知らない悲しみにくれているので、愛の話を聞かせてくれる人を探したりもする。だれか私の痛みを抱いてくれたり、私の話に耳を傾けてくれる人がいるかと探してみるが、なぜそうなのか、すべての人が何かに引きずられて忙しいとだけ言って、話を聞かせてくれたり、聞いてくれる人がいないように見える。

それで、ある人々は対話をのがしてしまった現実で、時には自分の困難は置いておいて、暖かい一言でも聞きたくて、捜し出したのが114の電話番号案

内だ。だれがいつどこで電話をしても、案内嬢は、きれいで清らかな声で「こんにちは。お客さま」と言ったり「愛します。お客さま」と言う。特に「愛します。お客さま」は、中毒性がある、ずっとかけるようになるということだ。必ず案内が必要な人には、失礼になるだろうが、対話をしたいその人には、それだけでも大きい慰めになると感じられる。意味なく愛しますと話す案内嬢(今、隠居のおばさんだと聞くが)のコメントを執着して、慕う思いがあるなら、みことばでこの世に来られ、ご自分の愛を体で見せられたキリストのみことばを聞けば良い。

地球上には、分からない言葉がいっぱいで、人々の耳に聞こえる音の70%は音楽だと言われるが、本当に自分の人生に力になって慰めに音は多くなくて、永遠に解答になる声は、より一層、検索することも聞くことも簡単ではないのが今日だ。形式で言う愛という虚しい声に人生をかける若者がたくさんいるが、真の愛の声は、たましいと肉体を地獄にも天国にも導くことができる力のある神様が、声を出しておっしゃっているという事実だ。聞かないようにするから聞けないが、聞くことを望んだら、人生の救いの祝福を味わうようになる。電話機を通して聞く軽い声でなく、永遠に喜びになる恵みの御声が、今、あなたの心を抱くのに十分な愛で満ち満ちながらたたいている。

チョン・ヒョングク牧師(福音コラムニスト)

* 相談したい方はこちらまで連絡してください